

第2学年図画工作科学習指導案

日時 平成25年 9月4日(水) 5校時
児童 第2学年 男19名 女12名 計31名
指導者 教諭 大坂佳世

1 題材名「おって そめて すてきなもよう」(東京書籍1・2「いろいろ そめて みよう」)

2 題材について

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領の第1学年及び第2学年の目標(2)「造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。」を主なねらいとし、指導内容A表現(1)のア「身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること」イ「感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくること」ウ「並べたり、つないだり、積んだりするなど体全体を働かせてつくること」に基づいて設定した題材である。

題材「おって そめて すてきなもよう」は、和紙を折って絵の具で染め、様々な模様をつくることを楽しむ学習である。紙を折る回数や方向、絵の具の色数やつける場所を工夫することで様々な模様が生まれる。児童がその面白さを感じながら発想を広げ、意欲的に表現していける題材と考える。

(2) 児童について

本学級の児童は、図画工作科の学習を楽しみにしており、つくったり描いたりする活動に意欲的に取り組んでいる。1学期には「おりおり ちょっくん ぱっ」で紙の折り方や切り方を工夫して、様々な形をつくることを楽しむ学習を行った。児童は、紙を折ったり切ったりする中で、自分なりにイメージを膨らませたり形を追求したりすることができた。また、友達の表現からヒントを得て、自分の発想を広げようとする様子も見られた。しかし、折ったり切ったりする知識や経験が少ないことから、単調な表現になったり、思うように表現できなかつたりする児童もいる。そのような児童には、友達の表現をヒントにして発想を広げることができるようにしたり、言葉がけや適切な技術指導を行ったりして、表現することの喜びを味わわせたい。

(3) 指導にあたって

導入の段階では、和紙を折り絵の具につけて開いて見せる。絵の具が染み込む様子から和紙の特性を感覚的にとらえさせ、また紙の折り方や絵の具をつける場所によって模様が異なることに気付かせたい。児童にとって、和紙は七夕の短冊や障子などで身の回りにある材料ではあるが、図工で扱うのは初めてであり、染めた経験はない。絵の具につけた和紙を開くときの期待や驚きから、興味をもって活動を始めることができると考える。

表現を深める段階では、児童が様々な折り方や染め方を試せるよう、紙を多く用意する。また、児童の思いに合わせて絵の具の色数(赤青黄)を増やしていき、表現が深まるようにしていきたい。その際、絵の具の混色に興味を終始しないように留意したい。また、表現の途中で友達の表現を鑑賞する場面や自由に鑑賞できる場所を設定し、友達の表現から触発され自分の発想を広げたり、表現への意欲を高めたりすることに結び付けていきたい。

まとめの段階では、お互いの表現を鑑賞し、形や色が生み出す模様の面白さに気付き、お互いのよさを見付け認め合うことで、自己肯定感や充実感をもたせたい。

また、単位時間ごとに学習課題に基づいた自己評価を行い、学習への達成感や自己課題をもたせることで、次の活動(次時や次題材)への意欲へと結び付けていきたい。

3 題材の目標

和紙を染めてできる模様（形や色）に関心を持ち、様々な折り方、染め方を思い付いたり考えたりしながら、模様づくりを工夫する。

4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
<ul style="list-style-type: none">折って染めてできた模様（形や色）を基に、折り方や染め方を考えようとしている。折る形や回数、色の組み合わせなど、いろいろ試しながら、模様をつくる方法を工夫しようとしている。	<ul style="list-style-type: none">折って染めてできた模様（形や色）を基に、折り方や染め方を思い付いたり考えたりしている。	<ul style="list-style-type: none">折る形や回数、色の組み合わせなど、いろいろ試しながら、模様をつくる方法を工夫している。

5 指導計画（2時間）

第1時 様々な折り方や染め方を試しながら、工夫して模様をつくる。（本時）

第2時 自分や友達の表現のよさを生かしながら、折り方や染め方を工夫する。

6 準備

児童：和紙、えんぴつ、洗濯バサミ、雑巾

教師：和紙、絵の具、カップ、雑巾、洗濯バサミ（予備） など

7 本時の指導（1／2時）

(1) 目標 様々な折り方や染め方を試しながら、工夫して模様をつくる。

(2) 研修テーマに関わる授業の視点

【研修テーマ】

造形遊びにおいて、形や色などを基に児童の造形への関心や意欲を高め、発想や構想、創造的な技能などの能力を育むことを目指した教師の言葉かけはどうあればよいか

様々な折り方や染め方を考えたり工夫したりする活動において、目標と評価規準を明確に設定した上で適切な教師の言葉かけを行ったり、展開の中に友達の表現を鑑賞する時間を設けたりすることによって、児童は様々な折り方や染め方を楽しみながら意欲的に試行錯誤することができるのではないかと考える。

教師の言葉かけにおいては、児童の思いや考え、表現の状況を把握し、その状況に合わせて価値付けを伴った共感や称賛、助言や方向付けを行い、学習意欲を高めることを第一に心がけていきたい。また、児童の躓きを予想し、自発的な活動を促すためどのような言葉かけを行うか予め見通しをもっておく。

鑑賞では、模様（形や色）の面白さや折り方・染め方とできる模様の関連に気付かせることで、自分の折り方や染め方の工夫につなげさせたい。更に作品を掲示する場所を設定し、いつでも鑑賞ができるようにし、自他の表現からいつでも学べる教室環境としたい。

(3) 展開

過程	学 習 活 動 予想される児童の反応	・教師の働きかけ ◆評価 言語活動
導入 5分	1. 本時の活動の見通しをもつ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・四角に折りたい。・三角に折りたい。 ・角を絵の具につけてみたい。 ・まっすぐな所を絵の具につけてみたい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・二つ折り、四つ折りなど、様々な折り方に気付かせる。 ・絵の具で染める場所によって模様が異なることに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>おり方とそめ方をくふうして、すてきなもようをつくろう。</p> </div>
展 開 35分	2. 和紙を折って染める。 <ul style="list-style-type: none"> ・赤の絵の具を使い、和紙に色が染まることを楽しむ。 ・好きな色を選び、和紙の折り方や染め方を考えながらつくる。 ・友達の作品を鑑賞し、表現の面白さに気付く。 ・友達の表現から気付いた面白さを取り入れながら、更に折り方や染め方を工夫してつくる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○四角、三角、蛇腹、不定形など様々な折り方を試している ○様々な折り数を試している。 ○染める場所によってできる模様が異なることを楽しんでいる。 ○三色を使って染めることで、和紙の上で色が混じり合うのを楽しんでいる。 ▲折り方に工夫が見られず、単調な活動になっている。 →他の児童の折り方の工夫に気付かせ、活動を促す。 ▲染め方に工夫が見られず、単調な活動になっている。 →他の児童の染め方の工夫に気付かせ、活動を促す。 ▲容器の中での色の混色に拘っている。 →紙を染めたらどんな色になるかということに興味を向けさせる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・十分に試行錯誤できるよう、材料を多めに用意する。 ・染み込ませる塩梅等を捉えやすくするために、初めは赤い絵の具のみで染めさせる。 ・絵の具の混色に終始しないよう留意する。 ・作品を掲示する場を設け、作品を見合うことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の折り方や染め方をヒントに、発想を広げることができるよう、表現の面白さと折り方や染め方の関連にも目が向くような鑑賞の時間を設ける。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて課題の再確認を行う。 ・児童の学習状況に合わせて「把握」「共感」「称賛」「価値付け」「助言・方向付け」の言葉かけを行い、学習意欲が高まるよう配慮していく。 <p>◆《発想や構想の能力》について 折って染めてできた模様を基に、折り方や染め方を思い付いたり考えたりしている。【観察・対話・作品】</p>
まとめ 5分	3. 本時の活動を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題について自己評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題に対する自己評価を挙手で行う。

(4) 板書計画 (例)

おって そめて すてきなもよう

おり方とそめ方をくふうして、すてきなもようをつくろう。

教師の演示作品		児童の作品 〈おり方〉	〈そめ方〉
<div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 5px;"></div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">折る形の工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">折る形の組み合わせの工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">折り数の工夫</div> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 5px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">色を付ける場所の工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">色の組み合わせの工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">色の重なり方の工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">色の広げ方の工夫</div>

座席表

「おりおり ちょっきん ぱっ」における児童の姿

【関・意・態】 ○ ●

【発・構】 ○ ●

ホワイトボード

掲
示
場
所

児童のイニシャル
【関・意・態】及び
【発・構】の状況を付
した座席表と配慮が必
要な児童の吹き出しコ
メントについては、省
略する。

楽しんで行
うが、折り方や切
り方の工夫や試
行錯誤には至ら
なかった。

楽しんで行
うが丁寧に欠け、
折って切る良
さを感じるには
至らなかった。

掲
示
場
所

・ペットボトル (絵の具)
・絵の具用容器

・ペットボトル (絵の具)
・絵の具用容器

掲 示 場 所